天使が君を連れてきたのか





天使が君を連れてきたのか 君が天使を連れてきたのか チェンバロが鳴りひびき 街並は中世のセピア色 僕は気が変になり 角を曲がるたびふらついた あの日君に出逢ってから ビオラダガンバがつま弾きなき マリアが笑いをこらえてる 僕は夜毎に パルムの僧院を抜け出した ひとり君を思うため こうもりの足元にだって ひざまずこう 君をさらって行けるなら

Hum Hum ·····

天使が君を連れてきたのか 君が天使を連れてきたのか どうか許すと言ってくれ 君のそのバラ色のまぶたを 君のそのまだ青い瞳を 君のその少女のままのくちびるを